



自民党 Lib Dems

笑顔は希望、やさしさは力。

岐阜県議会議員

若井あつこ

県政だより

今を
岐阜の視点で
若井の視点でお届けします。



第11号

令和4年
2022 Vol.1

7/1

令和3年度 第4回定例会 一般質問

質問
1

「脱炭素社会ぎふ」の実現を見据えた次世代エネルギービジョンにおける次世代自動車の普及促進について

本県では、再生可能エネルギーの創出を「岐阜県次世代エネルギービジョン」のなかの重点施策のひとつとし、次世代自動車など(電気自動車:EV、ハイブリッド自動車:HV、プラグイン・ハイブリッド自動車:PHV、燃料電池自動車:FCV)の普及促進を図っている。

本県では自動車が必要な交通手段であり、世帯当たりの自動車保有台数は全国8番目に多く、2017年の県内の二酸化炭素排出量部門別では、産業部門の35.2%に次いで、運輸部門が19.3%と高い割合を占めている。

現在の次世代自動車の普及状況は、現行ビジョンの目標では令和3年度までにEV・PHVの導入台数54,500台のところ令和元年度末で6,664台にとどまり、FCVでは1,059台にとどまり、水素ステーションでは需要がないため県内10か所のところ6か所となり、現行ビジョンの目標数とは大きく乖離している。エネルギー分野における技術革新や、エネルギーを取り巻く社会情勢の変化に適切に対応し、実効性と遂行力のあるビジョンへの移行が必要であると考える。

答弁
1 商工労働部長

促進に向けた現状課題と今後の進め方について所見を伺う。

FCVの普及促進に向けては、これまで、県が保有するFCVを活用しイベント等で普及啓発を図るとともに、水素ステーションの整備を支援してきたが、普及状況はエネルギービジョンの目標値を大きく下回っている。

このため、次期エネルギービジョンの策定に向けては、こうした動きをさらに加速化させるため、例えば公用車への更なる導入拡大、各圏域2か所の水素ステーションの増設、あるいは車両価格の引き下げに向けた国の購入支援の拡充を要請することなども含め、広く関係の皆様と議論を進めていく。



高山市の水素ステーションを視察(5月)。



質問
2

中学生・高校生の競技力向上に向けた今後の取組みについて

本県では東京オリパラを、スポーツ振興の追い風としたターゲットイヤーと位置づけ、「清流の国ぎふスポーツ推進計画」に基づき、今日まで競技スポーツの推進を図ってこられたが、計画期間は今年度で終了となり、東京オリパラ後の次なる目標が必要とされること。

本県の競技力は2012年に開催された「ぎふ清流国体 清流大会」によって大きく飛躍し、「ぎふ清流国体」では天皇杯・皇后杯を獲得、「ぎふ清流大会」では過去最高となる184個のメダルを獲得し、ジュニアから成年までの一貫した育成や強化策が功を奏し、大きな成果を挙げた。

その後、国体においては高い水準を維持していたものの順位は年々低下し、直近の2019年に開催された茨城国体では、天皇杯では目標8位のところ19位まで順位を下げている。

その競技力の内訳は、ぎふ清流国体・清流大会で活躍した選手たちが依然として頑張りを見せ、成年種目においては辛うじて競技力が保たれているものの、両大会の開催から約10年が経過する中において、その競技力に今後も頼ることは限界が見えている。

現在、本県が抱えている抜本的な問題は少年種目の強化であり、その中心となりうる中学生・高校生に焦点を絞り、今後の競技力向上に向けた対策を講ずることが重要であると考えるが所見を伺う。

答弁
2 清流の国推進部長

中高生世代の強化については、少年段階での競技力向上はもちろんだが、成年段階になっても本県へ定着してもらうことで、本県の総合的な競技力向上に資する重要な施策と考える。

このため、学校単位の部活動や地区も超えて、中高切れ目なく一貫して競技力を強化することと、指導者を育成することが必要。

競技力強化では、競技団体と連携し、県下全域で中高生世代の有望選手を強化指定し、練習会や遠征を実施する取組みを進めていく。

指導者育成では、全国トップレベルの実績を持つ指導者から学ぶ機会を定期的に提供するとともに、新たに上級指導者資格の取得支援も検討していく。

中高生世代が将来的にも県内で競技活動が継続できるよう、その受け皿となる県内クラブやチームへの支援も継続強化し、ジュニアから成年まで一貫した競技力向上につなげていく。



いきいき茨城ゆめ国体にて



一般質問の様子は岐阜県議会HPでもご覧いただけます。

岐阜県議会 議会中継



障がいのある人と社会を、 アートでつなぎ、アートでまじわる。

7/25

令和3年度 第4回定例会 一般質問

質問
障がい者による文化芸術活動のさらなる推進に向けた今後の取組みについて

障がい者によるアートは、美術の専門教育を受けず独自の発想と方法で創る生のままの芸術「アール・ブリュット」と呼ばれ、流行に左右されることなく自身の内側から湧きあがる思いを表現した作品は独自の世界観を醸し出し、ここ近年で世界的にも再評価されている。

本県では、3年後に「国民文化祭」とともに「全国障害者芸術・文化祭」が開催される予定だが、障がい者による文化芸術活動を一過性のもので終わらせるのではなく、誰もが身近に文化芸術を創造し享受できる社会へと、中長期的な計画に基づいて、県民に根づくような継続性のある推進を図っていくことが大切であると考える。

答弁
健康福祉部長

県では、県教育文化財団が設置した障がい者芸術文化支援センターと連携し、芸術文化活動を通じた障がい者の個性と能力の発揮や社会参加の促進に努めていること。毎年開催される全国障害者芸術・文化祭と連携した展示会やその巡回展の開催、WEBによるアンケート作品展等に加え、今後は、音楽やダンスなど舞台芸術の発表の場を設けていく。

また、障がい者団体や市町村に対し、地元作家の紹介、展示方法の助言等を行い、展示会の開催に向けた取組みを支援するなど、障がい者の芸術文化活動の裾野拡大に努め、本県開催となる令和6年度全国障害者芸術・文化祭につなげていく。



ぎふ清流文化プラザ(岐阜市)にて開催された展示会

6/26

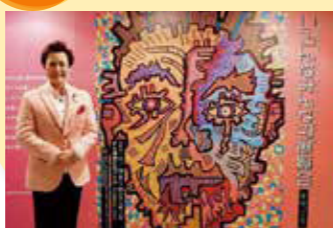
「わくわく惑星
—みんなでつくる空想の星—」



岐阜県教育文化財団・岐阜県障がい者芸術文化支援センター(TASCぎふ)のアートサポータープレゼンツ企画展。

11/23

tomonアートフェスティバル2021
「いろんなみんなの展示会 芽が、出る。」



岐阜県と岐阜県教育文化財団・岐阜県障がい者芸術文化支援センター(TASCぎふ)が主催の、全国障害者芸術・文化祭サテライト開催事業。

若井あつこ事務所

〒500-8323
岐阜市鹿島町1丁目10番地 加藤第二ビル2階
TEL.058-252-1115 FAX.058-252-1151
wakai-jimusho@marble.ocn.ne.jp

若井あつこ
公式SNS



活動報告

令和3年

農林委員会等視察

5/11

フランネルフラワー 生産農家視察(揖斐郡)

フランネルフラワーはオーストラリア原産の植物で、岐阜県は20年以上にわたる研究により、様々な品種を開発。国内流通品のほぼ全てが岐阜県産で本県が誇る新たな花です。



6/8

林業・林産業の現場視察 【恵那市岩村町】

大迫力の
大木伐採を
視察!



7/6

岐阜県森林技術開発・普及 コンソーシアム 令和3年度通常総会



岐阜県森林組合連合会
委員長として出席。

ぎふ木遊館とは?

ぎふ木遊館は、「岐阜木育30年ビジョン」の実現に向けて、木のおもちゃ遊びや、木工等を通じて、森林とのつながりを体験するための総合的な木育拠点として令和2年に整備されました。



7/28

ぎふ木遊館等視察(岐阜市)

- 一般社団法人岐阜県魚苗センター 美濃事務所【美濃市】
- 森林総合教育センターmorinos(モリノス)【美濃市】
- ぎふ木遊館【岐阜市】
- 岐阜県農業技術センター【岐阜市】



ぎふ木遊館1周年記念感謝祭
(令和3年7月17日)にて
古田肇岐阜県知事、竹下景子
名誉館長と

11/12

中山間農業研究所等視察(中津川市福岡)

- 夏秋トマトハウス【中津川市千旦林】



シクラメンや
カラーピーマンなど、
中山間地域に適した
新品種・新品目の創出や、
新技術の開発が行われています。

10/8 公益社団法人 岐阜県森林公社現地視察



●白山白川郷ホワイトロード
この道は岐阜・石川両県にまたがる未開発森林資源の開発を目的に、特定地域開発林道として、昭和52年に供用を開始されました。

白川郷展望台には
間伐材を利用して作られた
展望デッキが設置されています



●公社造林地【郡上市八幡町】

岐阜県は県土面積の
8割が森林で
森林率全国2位!



岐阜県森林組合連合会の
岐阜県産物共販所に

10/25・26

岐阜県森林組合連合会等視察 【関市倉地字物見山】

- サラダコスモ養老生産センター【養老郡養老町】
- 岐阜県スマート農業推進センター【海津市海津町】
- 若菜会の自動遮光システム付き 雨よけほうれん草ハウス【高山市下林町】
- 岐阜県中山間農業研究所【飛騨市古川町】
- 岐阜県産物共販所【関市倉地字物見山】

3/3

名古屋マリオットアソシアホテル料理長等への 「食のぎふ清流観光特使」委嘱状交付式



1/5

岐阜市中央卸売市場 初競り



10/17

岐阜県知的障がい者サッカー連盟主催 「もう一つの高校選手権2021 岐阜予選会」

連盟会長として
組み合わせ抽選を
行いました。



10/30

ぎふ清流レクリエーション フェスティバル2021



1階企画展示室では「岐阜県のアスリートたち」が開催されており、世界選手権4連覇の金メダル(4個)、世界選手権で実際に着用した道衣、ギネス世界記録認定証等が、展示されました。



7/18

岐阜県図書館 東京2020大会開催記念講演会

11/5

岐阜県警察音楽隊 サプライズコンサート



8/15

岐阜護国神社 戦没者 追悼慰霊祭



アール・ブリュットNEWS

アートでまじわる このまちの展覧会



岐阜県内在住在勤の障がいのあるアーティストの作品を、建設会社等にご協力をいただき工事現場を囲う養生シートに転写し掲示するプロジェクト。
見慣れた風景の中にアートが溶け込み、まさに工事現場はそのまちの展覧会場へと変身!

若井あつこプロフィール

岐阜県岐阜市生まれ。公益財団法人全日本空手道連盟公認7段。日本スポーツ協会コーチ4(旧:上級コーチ)、健康運動指導士の資格を持つ。4歳の頃交通事故に遭い重傷を負い、怪我の後遺症を克服するためのリハビリテーションとして、小学1年生から剛柔流空手道を学ぶ。空手道に夢中になっていくうちに後遺症を克服し、やがて競技という勝負の世界を目指すようになる。しかし、社会人になっても結果を出すことができず苦悩の日々を過ごし、競技を退くことも考えたが、平成7年1月に突然「世界チャンピオンになる!」と宣言。猛練習に明け暮れ、平成10年「第14回世界空手道選手権ブラジル大会」に、27歳で初出場し初優勝。その後、平成16年「第17回世界空手道選手権メキシコ大会」にて、前人未踏の4連覇を達成。この記録は「ギネス世界記録」に認定された。その後、全日本空手道選手権大会8連覇、ワールドゲームズ3連覇を達成し、競技を引退。現役を引退後、平成19年4月に西濃運輸株式会社の空手道部監督に就任。平成24年に開催された「ぎふ清流国体空手道競技」では、総合優勝の一翼を担った。その後、平成27年4月に岐阜県議会議員に初当選(現在2期目)。岐阜県政では、女性・子ども政策をはじめ、インクルーシブ社会や豊かな人生100年時代の実現に向けて、日々努めている。

豊かな人生100年時代を
目指して制作したCD
いきいき音頭〜健康空手で長寿に〜
作詞・歌唱 若井あつこ



若井あつこの主な役職 (令和3年12月現在)

- 岐阜県議会 農林委員会 委員長
- 自由民主党 岐阜県連 女性局長
- 公益財団法人 全日本空手道連盟 理事
- 一般社団法人 全日本実業団空手道連盟 理事
- 西濃運輸株式会社 空手道部 総監督
- 中部学院大学 空手道部 監督
- 公益財団法人 岐阜県スポーツ協会 理事
- 岐阜県知的障がい者サッカー連盟 会長
- 岐阜県ジュニアソフトボール協会 会長
- 岐阜市スポーツ協会 副会長